

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	地域の自然・災害・文化を伝える「語り部～つなぎ手～担い手」育成事業
対象地域	宮城県 気仙沼市 唐桑地域
対象地域の概要	   【位置図：気仙沼市唐桑地域】 【過去の津波被災状況】 【津波浸水想定区域：宮城県】
提案内容の概要	地域が抱える課題解決を図るため、「交流人口の増加」と「地域への誇りの涵養」の達成を考える。 そのため、地域資源である「自然・災害・文化」を活用するとともに、特に防災に重きを置き、防災講座や体験学習の実施による防災提供エリアとしての継続的な取り組みにより、来客、観光客を見込むことで課題解決を図るものである。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	・高齢化率：H20年3月：2,548(31.62%) H17年3月：2,432(28.91%) H14年3月：2,337(26.56%) ・人口動向（国勢調査）：H17年：8,103 H7年：9,277 S60年：100,96 ・観光客数（ビジターセンター）：H19年度：13,145 H10年度：32,155 H1年度：56,252 ・想定津波高さ（最高位）（宮城県第3次被害想定調査）：8.7m ・防災意識（H20年度事業調査より）：家族での話し合い(13.8%) 水食料の備え(8.4%) ・その他の課題：H20年度事業調査より、地域への愛着や思い入れは強く、「人」による伝承についても良いことと賛同いただけるのだが、自分がその役割をとなると一歩引く傾向がある。このことから、地域住民の参加しやすいあり方を形成することが必要と考える。
(2) 活動内容の案	活動①：防災研修体制の確立 内容： 唐桑半島ビジターセンターでの防災研修（講座・体験学習）の受入 ・ビジターセンターにおける防災講座の実施 ・「語り部」との連携 ・唐桑地域全域におけるフィールドミュージアム的な防災エリアの紹介 活動②：交流の機会の創出 内容： 地域住民と来訪者との交流の場の創出 ・ビジターセンターを活用した機会の設定 ・語り部（自然・災害・文化）の協力による交流の実施 ・体験学習（自然・災害・文化）を通じた交流の実施 活動③：地域の防災意識の向上 内容： 各地区における防災意識の向上と具体的な取り組み ・防災講座の実施（語り部との連携） ・自主防災組織の設置 ・自主防災リーダーの育成
応募団体名	気仙沼市・気仙沼観光コンベンション協会唐桑支部（旧称：唐桑町観光協会）・唐桑町自治会連絡協議会

リ ン ク	http://www.city.kesennuma.lg.jp/
部 局 ／ 担 当 者 名	気仙沼市 総務部 危機管理課 防災情報係 主査 鈴木 秀光
連 絡 先	TEL 0226-22-6600(内線 262) FAX : 0226-24-3566 アドレス : kikikanri@city.kesennuma.lg.jp
推 薦 市 町 村 名	宮城県気仙沼市